

# 図書館だより

題 字 田部島根県知事

号 数 第 2 号  
発行日 昭和44年2月15日  
編 集 楫 野 健 治  
発 行 島 根 県 立 図 書 館  
松 江 市 内 中 原 町 52  
TEL (0852) 21-2101  
印 刷 西 村 印 刷  
平 田 市 灘 分 町 670



## 図書館奉仕と文化活動

県立図書館長 楫 野 健 治

内中原の新館に移って3ヶ月有余日が過ぎた。日々の来館者多数を迎え先づ順調な利用状況である。当初の建物使用上の不馴れや一部には未整備の個所もあるが、建築設計の新鮮さと機能は、形態的には利用者に馴染まれ、素直に受容されている。

図書館奉仕の質的向上についても、衆目注視の中、着実な努力を重ねたい。

社会の進展は、図書館のあり方にも大きく作用する。県立に移管された昭和21年の当時、更に遡って明治32年松江図書館創設期の背景と社会情勢に比し、急激な社会変化と複雑多様な影響を受けている現状における図書館の存在は、同一には論ぜられないと思う。産業経済の高度成長、これにともなう情報の氾濫、その「情報」の一語にさえ、新しい意味づけがなされる。情報とは、今では事実や現象に対する知識・報告の意味に止ってはいない。社会、経済における情報はもとより、自然科学においても情報は新しい形成を意味し、創造の要素に外ならない。コンピューターを含めて、技術革新の花形は情報産業である。

一方、社会構造の変化は、都市化現象として過密、過疎のいづれにしても、生活不安が人間疎外とか文化の荒廃を来たしたと言われる。

社会の進展に対応すべく、人は生きるために知識と情報を要求し、日常生活にゆとりを持つために教養とレクリエーションを求めている。図書館への要求はこゝから始まる。この時においてこそ、私は現代社会において図書館の果たすべき役割を省察し、改めて図書館の理念について認識を深めるべきものと思う。

公共図書館は、知識・情報や教養・娯楽の要請に応えるため、図書や記録などの読書資料やレコード・フィルムなど視聴覚資料を常に念入りに選択し収集している。これを整理して手軽に貸出を行ない利用に供する。人はこれらの資料から調査研究して自らの問題を解決し、芸術と趣味の願望を満すことができる。図書館機能とは、資料を通じて、社会教育への奉仕であり、住民にとっては、図書館施設や資料を自由に利用する権利を享有することである。図書館の果たすべき役割は、この機能の認識から出発し、活動の根源をこゝに求めている。

図書館では、諸種の文化事業を実施する。一には、図書館機能の周知のためであり、図書館活動の広報であると考える。

自動車文庫は、図書利用の公平を期して、広く巡回し、読書会への貸出配本は、図書館活動の拡大に外ならない。古文書読解グループの援助や、研究会・講習会の開催、又各種図書の展示会・文化講演会、定期的にレコードコンサートや映写会をも計画的に行なっている。

これらの文化活動は、夫々のもつ研究と鑑賞の課題があると共に、図書館活動を活潑にするための誘いである。図書館に求める希望と意欲が旺んであり、そのことがらが高度化し、専門的となり、又多様化することは、それだけその地域の文化が向上していることを意味し、その尺度でもある。

コミュニケーションの技術的進歩は著しい。今後は進んだ視聴覚資料の提供に力を得て、図書館活動のPRと文化活動を盛んに行ないたい。

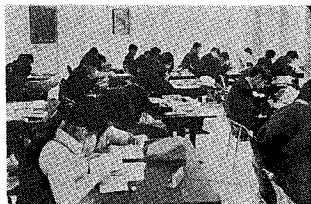
# — 新館における利用状況 —

昨年8月末旧館がとぎされてから約1か月半の間、新館開館の日を待ちわびていた人びとは、開館と同時にどっとおしよせ利用者は旧館時代と比較して飛躍的に増加しました。ことに土曜、日曜などは各室とも満員になることが多く、各閲覧室には収容しきれないでホールにまで机をならべて座席をつくることさえしばしばあり、また小中学生室では最近親子連れの読書風景もよくみかけられます。このほかレファレンス（参考事務）も急速に増え、複写サービスもこの3か月間で103件897枚の多きにのぼっています。

## (1) 閲覧室の利用状況

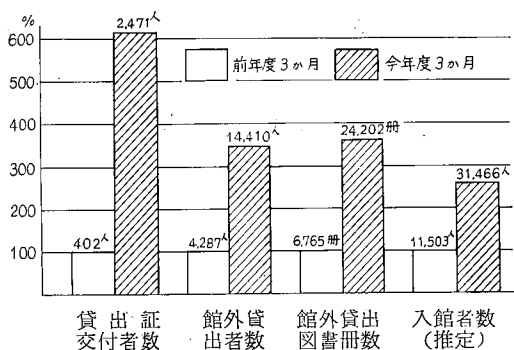
最近3か月間の利用状況は下表1. 2のとおりですが、試みにこれを昨年度

(旧館時代)の同時期における利用状況と比較すると次のとおりで、その躍進振りがお分かりいただけると思います。



## 利用状況比較

(S42.11~S43.1月 3か月間)  
(S43.11~S44.1月 3か月間)  
(註前年度3ヶ月を100とする)



(表1) 利用者数調 (S.43.11~S.44.1)

区分	貸出証交付者数	館外貸出者数	入館者数(推定)
一般	425	2,406	21,600
大学生	188	1,016	
高校生	595	1,925	
中学生	277	1,393	13,930
小学生	986	7,670	
計	2,471	14,410	35,530

(表2) 図書の館外貸出冊数調

(S43.11~S44.1)

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学工業	産業
冊数	203	547	610	1,273	531	680	384
%	1	2	3	5	2	3	2

分類	芸術	語学	文学	雑その他	児童	計
冊数	470	306	3,694	288	15,216	24,202
%	2	1	15	1	63	100

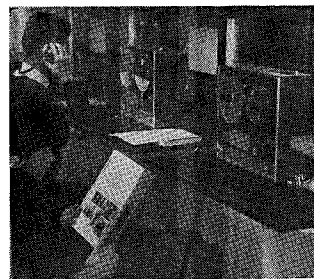
## (2) 視聴覚関係利用状況

### ① 個人鑑賞ブース

新図書館の視聴覚室には、個人鑑賞ブースという新しい施設がありますが、このような施設があることを知らない人も多く、また備え付けのレコードの数も少ないことから利用者の数は今のところあまり多いとはいえません。

しかしひとたびこれを利用した人は一様にヘッドホンから流れるステレオ音楽のすばらしさに感嘆しています。

開館後3か月間の利用状況は次のとおりです。



△個人鑑賞ブース利用者数(昭43.11.5 業務開始)

種目	クラシック	ポピュラー	邦楽	楽謡	録音教材	その他	計
11月	17	34	4	—	1	56	
12月	39	51	5	7	—	102	
1月	21	35	1	1	—	58	
計	77	120	10	8	1	216	

### ② 録音教材の複製

視聴覚資料の提供事業として、録音教材の複写サービスを行なっています。

主として社会教育、学校教育、有線放送関係や企業内教育関係に利用されています。(3か月間の利用本数は62本)

### ③ 16ミリ映画フィルム

社会教育課時代から実施している16ミリ映画の貸出しは、視聴覚係の中核的な活動となっていますが、フィルム数も逐年増加しているため今後ますます利用活動は期待できます。最近の利用状況は次のとおりです。

△ 貸出本数

月	10	11	12	1	計
貸出本数	92	246	169	150	657

△ 対象別利用人数

対象	月	10	11	12	1	計
子ども		5,086	11,505	4,726	1,664	22,981
男子成人		1,113	1,894	1,222	959	5,188
女子成人		634	2,281	2,020	1,594	6,529
計		6,833	15,680	7,968	4,217	34,698

△ 学習形態別利用人数

学習形態	月	10	11	12	1	計
教科学習		2,867	4,447	2,813	752	10,879
課外学習		1,836	4,597	1,028	516	7,977
青年学級		147	390	197	118	842
婦人学級		20	835	315	946	2,116
成人講座		1,144	1,527	1,648	866	5,185
公民館講座		55	205	460	295	1,015
一般映画会		694	2,834	1,275	699	5,502
その他		70	855	232	25	1,182
計		6,833	15,680	7,968	4,217	34,698

④ 文化映画を見る会

毎月集會室において定例的に実施しています。市内の映画館では見られない価値ある文化映画であることも一要因と考えられますが、なかなか好評で毎月続けて見たいという人も少なくありません。

本数	月	10	11	12	1	計
参加者数						
上映本数		2	2	2	2	8
参加者数		100	120	50	60	330

⑤ ステレオコンサート

ステレオレコードコンサートは、開館以来月例会として、月1回（土曜日の午後または夜開催）、また定例コンサートとして、毎週1回正午から午後1時までの1時間のランチタイムコンサートや水曜コンサートなどを開催しましたが、県立図書館集會室の近代的ムードと、マルチチャンネル方式の優秀な再生装置から流れる迫真的な立体音と相まって来会者を魅了しています。

月例会は1回に5、60名程度多い時には130名を突破したこともありなかなか好評です。

定例コンサート 毎週水曜日 第1. 3 クラシック  
第2. 4 ポピュラー  
月例コンサート 第2土曜 午後1時から  
それぞれ開催しています。

寄贈図書紹介

昭和43年10月5日から昭和44年1月27日までにご寄贈いただいた図書です。これは当館の資料として受入れ県民のみなさまの利用に供します。

紙上をかりて厚くお礼申し上げます。（総務課受入係）

図書名	寄贈者
伊達綱村茶会記	酒井 えい
ついに発見謎の邪馬台国	森脇 宏之
戦後自治史	自治大学校
日米文化交流の百年	米国大使館広報文化局報道部
歌集小書肆	金津書店
仇名草句集	勝部 寛
島根百年	毎日新聞社
郷土島根の建設をめざして	島根県教育委員会
穴道湖の動物たち	株式会社報光社
横田町誌	横田町役場
日本思想の系譜	国民文化研究会
空と水	井上雪枝
NHK年鑑(68)年版	NHK松江放送局
明治天皇紀	宮内庁書陵部
大田市誌(15年のあゆみ)	大田市
黒木村誌	永海一正
仏教文化講座	浅草寺教化部
近世賤民制の研究	榎原吉則
武蔵野 古寺と古城と泉	有峰書店
永富家	鹿島研究所出版会
歴史の研究	歴史の研究刊行会
明治百年島根の百傑	島根県教育委員会
愛哀集	大道久
国際人権年記念論文集	全国人権擁護委員連合会
句集 耕	栗間 耿史
旧制松高物語	吉村一夫
句集 夏の宿	神代哲郎
石造美術入門	日本図書館協会
国際人権年 世界人権宣言の20年	松江地方法務局
県民の鳥トキ	新潟県 治山課
わが外交の近況	外務省
小原国芳全集	玉川大学出版部
古江百年誌	松江市古江公民館
明治の登音	和久利 治助
京都大学70年史	京都大学
世界の教育(1955年版)	島根県教育委員会
鹿島町誌	鹿島町 "
県税の現状	自治研究所
国の予算	大蔵省主計局
歴代内閣物語(上)(下)	時事通信社
竹島史稿	桜内義雄事務所
行幸啓誌 1967	埼玉 県
石見の石造美術	伊藤菊之輔
遠雷	浩 瑞社
論語知言	東条 卯作
日本のやしろ	菊 竹清訓

# 新 着 図 書 の 紹 介

(奉仕課整理係)

(総記)

書名  
昭和への遺書  
夜の経済学  
毒舌旅行  
日本のこころ  
私の間書き帳  
日本のローカル新聞  
新聞経営論  
ホーチミン語録  
京の町かどから  
風雪夜話

著者名  
岡 潔  
岡 部 寛 之  
西 丸 震 也  
岡 潔  
大 西 伍 一  
田 村 紀 雄  
有 賀 清  
ホーチミン 内山敏訳  
松 田 道 雄  
近 衛 秀 磨

(郷土資料)

竹島史稿  
広瀬町史 (上)  
古江百年誌  
私説 石見銀山  
石西国道史  
石見の石造美術  
統 "

(那賀・安濃編)  
(邑智・邇摩")  
(美濃・鹿足")

大 熊 良 一  
広瀬町史編さん委員会  
須藤吉郎 編  
竹 下 弘  
矢 富 熊 一 郎  
伊 藤 菊 之 輔

吉賀記  
堀家史料目錄  
島根の百傑  
かほるこ (河津匂子遺稿集)

六日市町文化財審議会  
沖 本 常 吉  
島根県教育委員会  
高 永 タ ミ 子

(哲学)

老子  
明日の女性へのことば  
ラッセル自叙伝  
パスカルとの出会い  
聖書の人びと  
臨床心理学  
論語 上、下  
中世の儒学  
文化心理学基礎論  
幼児心理学

福 永 光 司  
山 下 肇  
ラ ッ セ ル  
由 木 康  
植 村 環  
日本臨床心理学会  
中 村 元  
和 島 芳 男  
築 島 謙 三  
山 下 俊 郎

(歴史)

滅びゆく万葉大和路  
現代史の目撃者  
日本史の争点  
発掘 (登呂の碑)  
鳥取砂丘への招待  
日本の中世社会  
日本帝国主義の形成  
吉田茂の遺言  
ゲバラ日記  
ある裁判官の歩み

中 西 進  
デーヴィッド・ブラウン  
和 歌 森 太 郎  
森 豊  
吉 田 璋 也  
永 原 慶 二  
井 上 清  
加 瀬 俊 一  
ゲ バ ラ  
岩 松 三 郎

(社会科学)

アジアとの対話  
冒険と日本人  
土地家屋の法律百科  
三井、三菱の百年  
平和の思想  
労働問題入門  
現代の都市問題  
日米最後の戦闘  
会社分析入門  
芸術と生活と教育

板 垣 与 一  
本 多 勝 一  
遠 藤 浩  
柴 垣 和 夫  
湯 川 秀 樹  
真 田 是  
谷 口 茂  
米 国 陸 軍 省  
小 川 例  
霜 田 静 志

(自然科学)

日本の医者  
おはなし栄養学  
糖尿病  
栗山式食事療法の実験  
病院、その複雑な人間関係  
女性一生の医学  
山の気象と遭難  
食生活の知恵  
雲の生態  
火傷治療の実験

川 上 武  
桑 原 丙 午 生  
中 山 光 重  
栗 山 毅 一  
TemPie. B  
矢 口 英 徳  
気 象 庁 予 報 課  
長 尾 長 男  
伊 藤 洋 三  
西 本 忠 治

(工 学)

図説日本国土大系 1~7  
超高層建築シリーズ 1~6  
水力学大系 1~9  
ボイラー技術講座  
初級建築構造力学  
道路設計の基本  
建築衛生設備の手帳  
水力機械  
ソリッドステートFM受信機  
問いつめられたパパとママ

東 畑 精 一  
鹿島研究所出版会  
水利科学研究所  
日本ボイラー協会  
田 口 武 一  
住 友 彰  
本 多 政 富  
草 間 秀 俊  
福 井 初 昭  
伊 丹 十 三

(産 業)

日本農学史  
広告の知識  
効果のあるチラシ広告  
放送夜話  
観葉植物入門  
東洋ラン、花物  
地域開発と産業  
新しい都市交通  
狩 獵  
近世日本農業の展開

齊 藤 之 男  
本 間 弘 光  
倉 本 初 夫  
日 本 放 送 協 会  
清 水 基 夫  
黒 崎 陽 人  
川 村 琢  
リ チャー ド  
直 良 信 夫  
古 島 敏 雄

(芸 術)

日本の民芸  
日本陶磁の伝統  
写真知識

柳 宗 悦  
小 山 富 士 夫  
鎌 田 弥 寿 治

日本の書  
太平洋戦争名画集  
現代人の名曲図書室  
高川囲碁読本  
坂田の碁  
いけ花のはじめ  
奈良、大和路

(語学)

方言学概説  
言葉とはなにか  
日本語文法  
漢文入門  
英語と私上、下  
万国博英会話ガイド  
若い人の手紙  
式辞、挨拶  
作文講座 1~5  
国際語概説

(文学)

ひとつの青春  
火の繩  
愛の発掘  
ベトナムを越えて  
天と地と上、中、下  
20世紀英米文学案内  
万葉集注釈 1~20  
日本文学の歴史 1~12  
源氏物語大成  
現代アメリカの作家12人集

(児童)

わたしの小さなお話の本  
幼年動物名作文庫  
てんぷらびりびり  
クロスケのぼうけん  
ひかりの国のタッシング  
天平の虹  
砂  
どこからかきた少女  
白いシカ  
中国文学名作全集

堀江知彦  
猪熊弦一郎  
岩井宏之  
高川格  
坂田栄男  
西堀一三  
金子保

国語学会  
福田恒存  
白石大環  
小川二樹  
松本亨

Nauman  
青木一男  
田辺博之  
森岡健二  
ビュルネー・ピエール

大原富枝  
松本清張  
小島信夫  
ライシャワー  
海音寺潮五郎  
井上光晴  
沢浜久孝  
高木市之助  
池田亀鑑  
芥藤数衛

田村まゆみ  
村岡花子  
まどみちお  
ささきあずさ  
エリザベス・エンライト  
中村新太郎  
ウィリアム・メイン  
ゲーブハルト  
ケートセレディ  
奥野信太郎

レファレンスコーナー

レファレンス・サービス (参考事務) について

レファレンス・サービス、あるいは参考事務ともい  
どちらにも一般の人にはききなれないことばで知らない方



も少くないと思いま  
すが、図書館界では  
大体「図書館に寄せ  
られた質問相談に接  
し、図書館の資料又  
は機能を活用して、  
これにこたえること  
」というような定義

をしています。要するに図書館がいろいろの質問や相談  
を受けてお答えしたり、それを解決するお手伝いをする  
ことと理解していただければよいと思います。

この仕事は図書館の最も重要な奉仕の一つですが、ま  
だ一般によく理解され利用されていないうらみがありま  
す。どうぞ口頭でも、電話でも、また郵便でも結構です  
からどしどし利用していただきたいものです。

最近取扱った質問や相談の中から例をあげると次のよ  
うなものがあります。

1. ソ連の1966年における国民総生産高はどれだけか。
2. 旧出雲松平家の当主の名と現住所を知りたい。
3. ノーベル文学賞について、第1回からの受賞者はだ  
れだけか。
4. 読書調査はどのようにすればよいか。
5. 科学画報の昭和5年9月号を見たいが、この図書館  
にあるか、なければどこにあるか。借出しできるか。
6. 就業規則を作りたいが何かいい例はないか。
7. 尾子家の紋章について調べたいが。
8. 朝鮮漬のつくり方はどうか。
9. 次の和歌の出典と作者を知りたい。  
「何となく さえずる山の鳥の音も  
物のあはれは 春のあけぼの」
10. 城山稲荷の神幸式について調べたい。

私たちの読書グループ

私達が住んでいます大谷4部落は、玉造温泉街から南  
へ約4軒程入った所で、戸数24戸、山間の一小部落でござ  
います。

婦人会活動の一端として読書会が誕生いたしましたの  
は昭和39年11月のことです。心身ともに健康で明かるい  
生活をしていくための知識や技能を中心にして学ぼうと  
いうのではじめたものです。

まづ毎月研究のテーマを決めて、それに関連する資料  
を各家庭の新聞や雑誌等の記事の中から探し出して持ち  
よったり、また、県立図書館しまね号の巡回を待って、

図書を借りそれを読み合って話し合いの手がかりといた  
しました。農繁期を除いて月に1回の集まりですが、こ  
の会をもつようになってから、急に私達の日常生活に対  
する視野が広がってきました。そして、読書会で学んだ  
ことの中から私達の生活に取り入れることの出来るもの  
は次々と実行に移しています。部落民全体に対して生活  
改善についてのアンケートを取った結果、男女合同の座  
談会を持つようになり、部落行事の合理化を手始めに、  
昨年は公会所改築の実現を見るまでになりました。

私達はこの読書会をさらに続けていくことによって、  
健康で明かるい生活探究への輪を、さらに広げていき  
たいと話し合っています。

(玉湯町大谷読書会長 永江ハナミ)

# おしらせ

## 集 会 室

今後、視聴覚関係の定例的行事は県立図書館集会室において下記のとおり行ないます。

### ○文化映画を見る会

毎月第2土曜日 午後1時30分から午後2時30分まで

### ○月例ステレオ・コンサート

毎月第2土曜日 午後2時30分から午後4時30分まで

### ○水曜ステレオ・コンサート

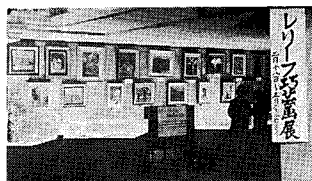
毎週水曜日、午後4時から午後5時まで

ただし、当日が国民の祝日と重なった場合は、お休みいたします。

## 展 示 コ ー ナ ー

当館展示コーナーにおいては、ただ今レリーフ巧芸画展を開催しております。

私達が、名画をいつも手近において眺めることができたらし……もし音楽にステレオ再生があるように、絵画にもみごとに立体再現が生まれたとしたら……その夢が……



……その夢が……その夢がついに日本で完成されました。

「レリーフ巧芸画」は原画そのままの再現というたい文句どおりに、どなたにもご満足いただける高級美術品だそうです。

一流作家独特のタッチ、マチエール、絵の具の隆起、キャンパスの織り目にいたるまで、タブロー形式の原画の色彩や階調、もり上りなど微細にわたって、忠実に再現されています。必ずやみなさんのご期待に副えるものと確信いたし、ご来館をお待ちいたしております。

期 日 2月18日(火)～3月23日(日)

### 展 示 品

「春雪」小糸源太郎 「稲取風景」高島達四郎 「春昼の富士」向井潤吉 「バルコンウエニス」萩須高徳 「奥日光」大久保作次郎 「アネモネ」梅原龍三郎 「ばら」中川一政 「ヴィルタヴレ」コロー 「帽子の女」ルノアール 「ダリヤ」林武 「慕情」東郷青児 「けし」宮本三郎 「けしと立藤」宮本三郎 「パンジー」岡鹿之助 「茶園」ピサロ 「ばら」児島善三郎 「ポントヴェン附近の風景」ゴーガン 「ばら」安井曾太郎 「泰山木」高野三三男 「日の出」石井柏亭 以上20点

展示コーナーにおける4月以後の展示予定は次のとおりです。

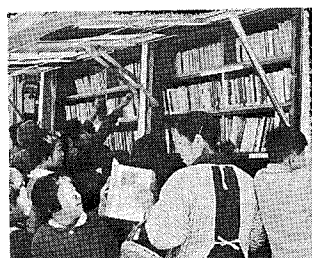
- 4月 日本の文豪パネル展  
文豪色紙展
- 5月 こども絵本原画展
- 6月 作家原稿展

## 自 動 車 文 庫

### 自動車文庫

※しませ号、の

3月巡回予定は次のとおりです。



コース名	月 日	巡回箇所 (到着時間)	
美鹿コース	3月4日	井田(12時40分) - 都治(14時)有福 - (15時50分)	
	3月5日	木都賀(10時) - 日原 (13時30分) - 蔵木(16時)	
	3月6日	田野原(9時30分) - 都茂(14時40分) - 東仙道(16時)	
	3月7日	岡見(9時) - 黒沢(10時50分) - 井野(12時30分)	
邑智コース	3月10日	川戸(13時30分) - 川本 (15時40分)	
	3月11日	地頭所(9時) - 粕淵(11時) - 浜原(13時30分) - 都賀本郷(15時30分)	
	3月12日	口羽(9時) - 阿須那(10時30分) - 都川(14時20分)	
	3月13日	今市(9時) - 雲城(11時20分) - 波佐(13時30分) - 浜田学園 (15時50分)	
	3月14日	湯里(10時) - 仁摩(11時20分) - 多伎(14時20分)	
	広瀬、横田コース	3月18日	揖屋(9時30分) - 広瀬 (11時10分) - 比田(14時) - 横田(16時)
		3月19日	馬木(9時30分) - 田井(13時) - 吉田(14時50分) - 掛合 (16時20分)
		3月20日	須佐(10時) - 佐田(11時10分) - 湖陵(13時50分)

# 友の会だより



ご あ い さ つ。

友の会々長 奥 原 秀 夫

県立図書館「友の会」の結成にあたり、図らずも会長の要職にご推挙いただきましたことを、誠に光栄に存じております。

性来私も読書は好きな方ではあり、また教育関係に在職した関係上図書館とは全く無縁ではありませんが、果してこの大任を担うのか、いささか危惧いたしております。

しかし幸い、会員の皆様の読書に対する日頃の意欲と熱意が結集されますなら本会が、日を待たずして隆昌の途をたどるものと確く信じており、このことが、大きく図書館の活動をささえるものと存じています。

ここに皆さんと共に、本会が健やかに育ち、今後益々発展することを心から祈ってやみません。誌上をかりて一言ご挨拶を申し上げます。

## 友の会員ぞくぞく増える

### — 新 会 員 紹 介 —

氏 名	住 所
門脇恒吉	松江市雑賀町1370
伊藤征男	鏡川郡大社町大字修理免559
高島秀夫	松江市上乃木町1140西ノ原住宅
石川六郎	松江市北堀町81の3
金山信三郎	松江市殿町383松陽ビル内
鳥谷サツ子	松江市殿町19の1県農協中央会
中山幸枝	松江市殿町345
永瀬誠一	〃 幸町798の2
小森清	〃 上乃木町中国電力松南寮
坂根兵部之輔	大田市川合町忍原
新宮朗	松江市東津田町字堂前1070
高橋一郎	仁多郡横田町大字横田1061の2
光田功	松江市比津町
坂下順一	松江市米子町21
本多一彦	松江市南田町69
大矢武	〃 西持田町2-2
松林俊久	〃 西川津町1584
曾田優	八東郡鹿島町北講武410
金築修	松江市内中原町225
竹谷文子	八東郡八束村入江
柏木依子	松江市北田町42
赤井昌弘	〃 中原町219
西尾良一	平田市平田町1888の22
勝田勝年	松江市南田町
内田映	松江市国屋町510
角田得能	〃 東朝日町253
当木哲夫	〃 南田町95
西山恭子	〃 外中原町226
山田悠紀子	〃 外中原町228
真辺アサ子	〃 西茶町60の27
荒木信子	〃 北田町30の6

## 喫茶室でコーヒーを

喫茶室ご利用の皆さんから強いご要望もあり、2月15日より待望のコーヒーをはじめました。みなさんに満足していただけるようにと心をこめて奉仕しています。

何とぞみなさまのご利用を心からお待ちいたしております。 (喫茶室)



## ☆ 県立図書館友の会会員募集!!

県立図書館友の会ではひきつづき会員募集をいたしております。

すでにご案内のとおり、図書館と利用者の皆さんのつながりを深め、図書館利用の便宜をはかることを目的としていますが、会員は読書新聞や図書館だよりや岩波書店発行の「図書」(月刊誌)の送付をうけたり、友の会主催の各種講座や鑑賞会(第1回2月21、22日)に参加ができたり、また、複写料金の割引などの特典が受けられます。

入会ご希望の方は県立図書館振興課普及係までお尋ね下さい。

# 図 書 館 ニ ュ ー ス

## 新館竣工は4月！

—— 工事順調に進む浜田市立図書館 ——

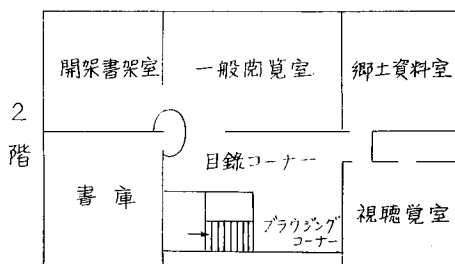
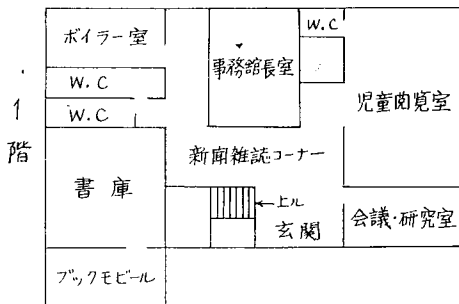
浜田市立図書館は明治34年私立図書館として創設されその後幾多の変遷を経て現在は元市警察署建物を使用していましたが、近代図書館としての機能を果たすことはできず、市民の要望に答えるべく今年度総事業費3,000万円の予算で新館建築が決定し、目下工事も順調に進みよいよ4月には開館の運びとなりました。

新館の概略次のとおりです。

鉄筋2階建、延664 $m^2$

主なる室

- 児童閲覧室（中学生を含む）定員50名
- 新聞雑誌閲覧コーナー（展示等も行なう）
- ブック、モビール（自動車文庫室）
- 一般閲覧室 定員40名
- 郷土資料室（県下全般にわたる資料が利用できる）
- 視聴覚室（映画、レコード、スライド等の鑑賞ができる）
- 開架書架室（一般閲覧室に直結した室で約8,000冊の図書を利用者が自由に選択できる）



## 県立図書館で家庭教育学級を！

去る1月17日、平田市立東小学校家庭科教育学級のお母さんたち50名が、同校の花谷静夫校長先生に連れられて来館、午前中は榊野館長および、西山次長から県立図書館の概要を聞き、つづいて県教委小村指導主事の指導でレコード音楽の鑑賞を行ないました。

午後は「母と子の20分間読書」および、「いうことをきく子を育てる」という2本の家庭教育映画を見たのち、家庭教育のあり方について図書館視聴覚係長、安達社教主事をかこんで座談会を開き、活潑な意見が交わされ、有意義な図書館学習の1日をすごしました。

## 全国表彰を受ける！

— 元井田読書会 —

昨年秋の読書週間に全国25グループの一つとして、県下でははじめて温泉津町元井田読書会が全国読書推進運動協議会から優良読書グループとして表彰されました。

当館では去る1月20日同グループを招き表彰状の伝達をおこない永年の努力に対してその労をねぎらいました。

## 新しい図書館設備豆辞典

— その2 —

### ホールの照明スタンド

入館者のみなさんからよく尋ねられるものにホールの照明スタンドがあります。このスタンドは、直径50ミリのミラー付電球が柱状のポールにぎっしりと取り付けられています。この数は一基で計216ヶついています。この電球一つは8Wですから1.728W約18Aの電流が流れます。このスタンドがホールの両側にあつて自然光線の補光に使われ、美しい花模様が眺められます。デザインは、石井元子デザイナーによるもので1基150,000でした。

### ステレオ再生装置

県立図書館でステレオコンサートに使っている再生装置は、「マルチチャンネル方式」といって、低音用、中音用、高音用のスピーカーを、それぞれ独立した専用のメインアンプ（つまり3個のメインアンプ）で鳴らしています。このほかに、プリアンプ、デバイディングアンプ（低・中・高に3分割するためのアンプ）を必要としますので合計5個のステレオ・アンプが使われています。この方式をとると、よい再生音を出すために普通的方式に比較して数段と良好な結果が得られます。